

p.13 を赤字のように訂正いたします。

【誤】

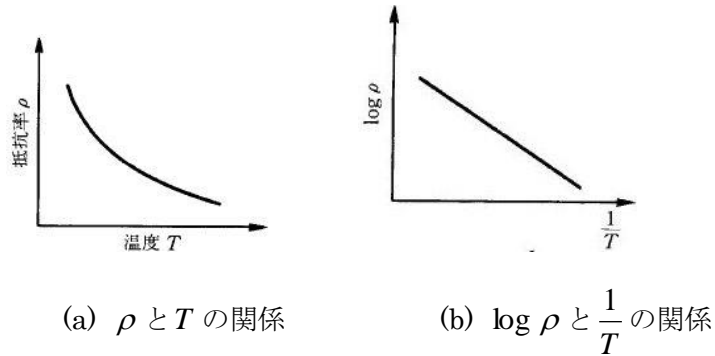


図 1-2 抵抗率の温度依存性

次に、この特性の表現を変えたものを同図(b)に示します。すなわち、横軸に温度の逆数  $\frac{1}{T}$  を、縦軸に対数  $\log \rho$  をとったものです。温度特性は右下がりの直線になります。このような表現法をアレニウスプロットといいます。

この特性を式で表現すると、

$$\rho = \rho_0 \exp\left(-\frac{A}{T}\right) \quad (\text{ここで、}\rho_0 \text{ と } A \text{ は定数}) \quad (1-1)$$

となります。抵抗率の温度依存性を示す式です。

【正】

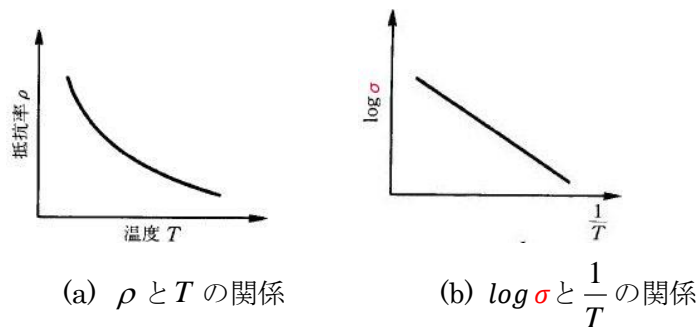


図 1-2 抵抗率と導電率の温度依存性

次に、この特性の表現を変えたものを同図(b)に示します。すなわち、横軸に温度の逆数  $\frac{1}{T}$  を、縦軸に対数  $\log \sigma$  をとったものです。温度特性は右下がりの直線になります。このような表現法をアレニウスプロットといいます。

この特性を式で表現すると、

$$\sigma = \sigma_0 \exp\left(-\frac{A}{T}\right) \quad (\text{ここで、}\sigma_0 \text{ と } A \text{ は定数}) \quad (1-1)$$

となります。導電率の温度依存性を示す式です。